

地球温暖化の犠牲者 ホッキョクグマ

地球温暖化の影響で生息地である北極圏の海氷が急速に減少しており、餌となるアザラシが狩れなくなっているホッキョクグマ。このままでは今世紀中に絶滅するのではと懸念されている。

ホッキョクグマ Ursus maritimus

ホッキョクグマが生息している国は、ロシア、カナダ、アメリカ、ノルウェー、デンマークの5カ国のみである。正式な和名はホッキョクグマで、よく使用されているシロクマという呼び方は俗称である。



カナダ 1998



ソヴィエト連邦(現ロシア) 1987



ソヴィエト連邦(現ロシア) 1957



カナダ 2019



カナダ 2009



カナダ 1953



カナダ 2003



ノルウェーのスパールバル島にある、シロクマ注意の看板

カナダ 2011



日本 2013



ホッキョクグマの体毛色は、白ではなく透明で中が空洞になっている。太陽光を吸収し、体毛の空洞には保温効果がある。動物園での飼育環境では空洞にゴミが溜まり、茶色に見える場合が多い、日本の切手にはまさにこの状況が描かれている。



ソヴィエト連邦(現ロシア) 1977



アメリカ 1971

地球温暖化の影響による氷の急速な減少により狩猟場所を奪われ、飢餓状態に追い込まれている北極グマを生息国5カ国の内3カ国の切手でまとめてみました。現在の生息数は約26,000頭とされています。